

“いのち”の大切さを考える

～老いと、人間と、いのちと向き合い 自分に出会う～

NPOスカイ学校支援ネットワークセンター 道徳教育4-2

感性とコラボレーション研究会
(元墨田区職員) 秋田 昌子

そもそもの始まり・・・

平成8年(1996年) 墨田区立墨田中学校 ふれあい学習

「おばあちゃんの介護を通して 人と人のふれあい、思いの交換」



平成21年(2009年) 学校支援ネットワークのメニュー

“いのち”の大切さを考える

児童、生徒、保護者、教員等の方々へ

総合的な学習の時間、道徳地区公開講座等



平成31年(2019年)2月現在 161回実施

★
23
年間

様々な地域でのご縁をいただき・・・

墨田区、江東区、台東区、足立区、荒川区
葛飾区、板橋区、練馬区、杉並区、大田区
中野区、世田谷区、港区、中央区、文京区
江戸川区（16区）

保谷市、清瀬市、国立市、国分寺市、神津村
武蔵村山市（5市、1村）

神奈川県横浜市

福島県双葉郡楢葉町（本日の資料）

子供たちの「いのちへの感性」・・・

平成8年当時

いじめ
自殺、殺傷事件など



今の子供たちは・・・
「いのち」の大切さを
知らない！



「感じる」、「知る」機会が乏しい？

誰かが悪い！
ではなく・・・



「いのちの大切さ」
感じる・気づく環境づくり

みんなで！つくる！

感性を掘り起こす！



そこで…試み始める

【ねらい】

- (1) 「いのちの大切さ」を理解し、自他の生命を尊重し、生きることの喜びを感じる。
- (2) 人間を理解し「いのちと向き合う」体験を通して、自分の存在を認めながら生きていくことの大切さを学ぶ。
- (3) 多様な価値観に出会い、人と人がかかわり響き合うことの豊かさと醍醐味を学ぶ。

【流れ】



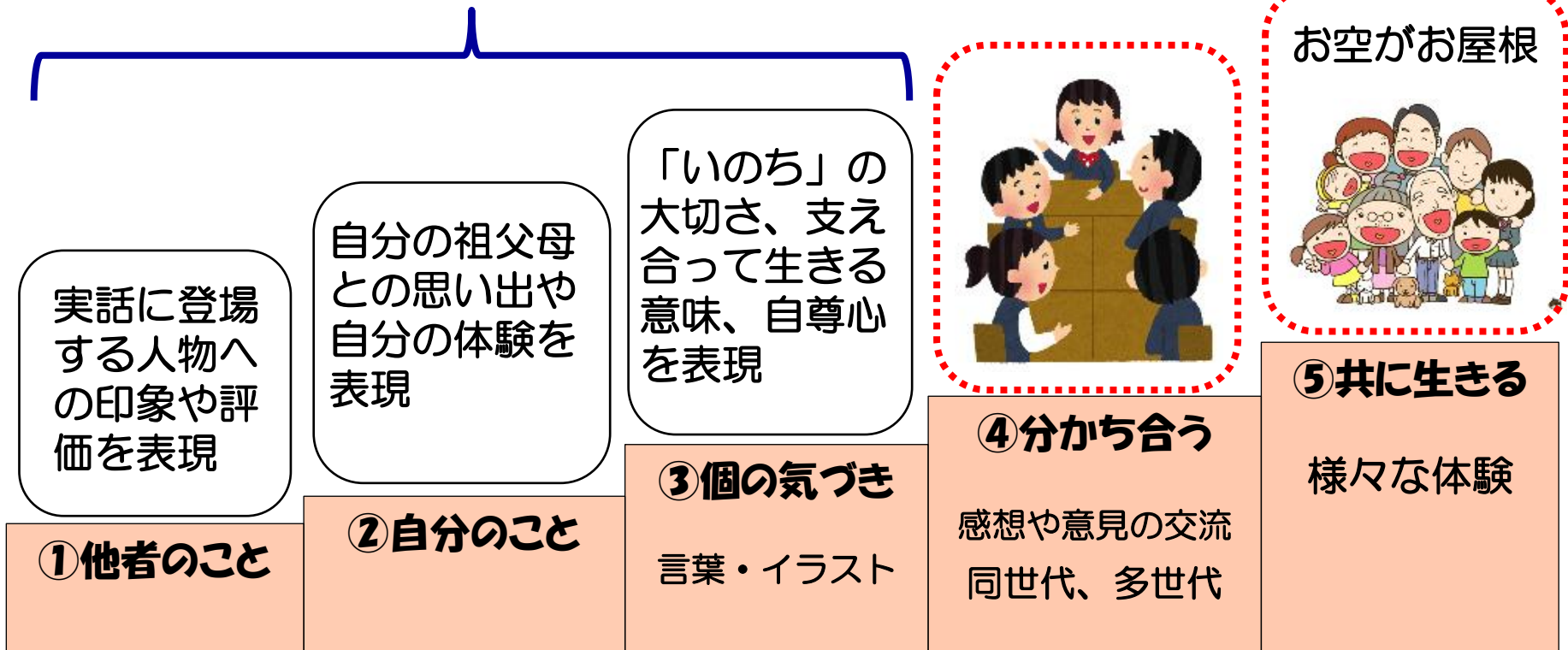
トウさんが生きた！

みんなも生きた！



話し手：秋田 昌子

取組の結果と今後…



【これまでの取り組みの結果】



【今後の展開】

「特別な教科 道徳」の動き・・・

小中学校「特別な教科 道徳」の実施

【社会的な背景】

- ・ グローバル化の進展
- ・ 情報技術等の進歩
- ・ かつてないスピードの少子高齢化の進行
- ・ いじめ、自殺、暴力的行為、殺傷事件等

- ・ 小学校 平成30年4月～
- ・ 中学校 平成31年4月～



- ・ 一人一人が道徳的価値の自覚のもと、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を備えることが重要。
- ・ 「答えが1つではない課題に子供たちが道徳的に向き合い、考え、議論する」道徳教育の転換により児童生徒の道徳性を育む。

- ・ 伝えることを通して、感動や学び、やいがいや生きがいを得る
- ・ 学校と地域がつながることで、豊かに育ち合う環境が育まれる

